



足寄町立足寄小学校 学校便り (第 229号)

令和5年9月29日(金)

大地



足寄町立足寄小学校
電話 25-2114
FAX 25-4904
発行者：大宮 秀夫
編集者：平川 正規

足寄小学校「あ・い・う・え・お」あいさつ 一生けん命 美しい学校 えがお 思いやり

ウェルビーイング～価値観への対応から新しい価値の創造へ～ 校長 大宮 秀夫



私がまだ小学生だった頃、友達の家集まり「人生ゲーム」を楽しんだりしました。ご存じのとおり、人生ゲームではルーレットを回して進んだマス目に従い、結婚や就職を経ながら宝くじに当選したり世界旅行に出かけたりと波瀾万丈な人生を疑似体験して最終的に所持金の一番多い人が勝者となります。昔の人生ゲームは職業の数も数種類（医者・会社員・アナウンサーなど）しかありませんでしたが、最近のものは60種類以上の職業があったり、同じ職業でも役職別に給料が違ったりと、

リアルな作りとなっているそうです。また転職、副業、企業買収（M&A）など時代を反映した出来事があるそうです。しかも令和版になると所持金の多さを競うのではなく、SNSを舞台にインフルエンサーとしてフォロワーが一番多い人が勝者となるようで、もはや私が想像している人生ゲーム（金持ちが勝者）とはかなり違います。たかがボードゲームとは思いますが、何だか時代の価値観の変化を反映している部分は教育とも無関係ではないような気がします。

価値観の変化と言えば、小学生のなりたい職業に依然としてYouTuberが上位にランクインし、AIやデジタル技術の進歩から30年後には無くなると言われる職業も多数。先日、ものまねタレントの大御所コロッケさんが、最近SNSでバズっている（流行している）素人ものまねの再生回数が数百万～数千万再生回数だと知り、自身もYouTubeでものまねを配信したところ再生回数が数百回・・・ケタ違いの現状に危機感を覚え、明石家さんまさんに相談していたのをテレビで見て笑ってしまいました。コロッケさんは嘆きます・・・「何十年も技を磨き、お客さん相手に“生”のものまねを見せて笑いを届けてきたのに」と。

近ごろは教育系YouTuberという人たちが、わかりやすく楽しい授業を定期的に配信しフォロワー数も急増しているそうです。学校現場の我々もコロッケさんのことを他人事として見てはられないような気がします。

さて、OECD（経済協力開発機構）という国際機関では、2030年までに目指す子どもの成長指針をラーニング・コンパス（学びの羅針盤）として発表しています。そこでは子どもたちのウェルビーイング（well-being／精神的・身体的・社会的により良く生きる）を目指すと言われています。そして新しい時代に向けて必要な資質能力の一つに「新たな価値を創造する力」が上げられています。私なんかは時代の変化による新しい価値観に追いつくのが精一杯ですが、これからの時代を生きる子どもたちは「新たな価値を創造する力」が求められるのです。子どもたちのウェルビーイングというゴールを目指すためにも、学校と保護者が子どもたちにどんな力を育みたいかを一緒に考えていきたいものです。

池田剛基先生来校



1年生は9月29日、2年生は25日、3年生は26日の体育の授業で、足寄町教育委員会の池田剛基先生(元ファイターズ)を招いてボール投げの指導をして頂きました。ボールに慣れる運動から始まり、腕の振り方、ステップの仕方など発達段階に応じて遠く投げるための方法を教わりました。子供たちはとても熱心に話を聞き、大きいソフトボールの球を遠くに投げ込んでいました。とても楽しい1日となりました。今後も池田剛基先生にはボール投げをはじめとした運動などに関する指導をお願いしようと考えています。

地震想定避難訓練

春の火災想定避難訓練に続き、9月13日(水)に地震を想定した避難訓練を行いました。今回は、授業中ではなく、休み時間の訓練でした。休み時間は、教室だけでなく、廊下や体育館、グラウンドなど、様々な場所に児童が分散しています。近くに先生がいる場合は、その指示に従いますが、いない場合は、放送の内容をよく聞き、自分で判断して避難しなければなりません。この日は警報からの避難場所のグラウンドまで全員揃うまでの時間が2分35秒でした。

避難後は、校長先生が「この避難訓練は必ず100点をとらなければならない。」ということや「災害はいつくるかわからない」ので、どんな時も「自分の命は自分で守る」という意識が大切だということについてのお話をしました。

今後も「お・は・し・も・も(押さない、走らない、しゃべらない、持たない、戻らない)」をよく守って、慌てず行動するよう声掛けをしていきます。



主な行事

- 2日(月) 交通安全の日、あいさつ運動
- 3日(火) 地層見学(6年)
学習発表会特別時間割開始
- 4日(水) 職員会議
- 9日(月) スポーツの日
- 13日(金) 読み聞かせ(3年)
- 19日(木) 学習発表会(1・3・4年)
- 20日(金) 学習発表会(2・5・6年)
- 21日(土) ~ 22日(日)
PTA 研究大会札幌大会
- 25日(水) 移動図書
- 27日(金) 児童会

4年生が神奈川県と同じ学年とZoomで交流

国語の『新聞を書こう』の時間で、5つのテーマでグループを作り、新聞作りを行っています。そして今回、縁あって神奈川県にある小原台(おぼらだい)小学校の4年生と交流する機会を設けることができました。自分たちの学校や地域について相手が知らない情報を発信して交流しました。その1回目として、9月22日に作成した新聞の交流をZoomを使って交流しました。とても楽しい一日だったようです。今後も様々なことを交流することになっています。また次回も楽しみですね。



令和5年度 1学期学校評価結果について

1回目の児童アンケートの取組、自己評価の提出ありがとうございました。保護者アンケートは回収率63%でした。

■保護者アンケートでは、特に「②楽しい」「④わかる」「⑦運動」「⑧守る」「⑪早寝早起」の項目では、昨年度と比較するとポイントが上がり良い傾向が見られます。ただ、「⑤ていねい」「⑥読書」「⑩ゲームの時間の決まり」の項目では課題が見られます。

■児童アンケートでは、特に「①あいさつ」「②楽しい」「③仲良く」「⑧守る」「⑨宿題や自学」の項目では、昨年度と比較するとポイントが上がり良い傾向が見られます。ただ「⑥読書」「⑩ゲーム時間の決まり」の項目で課題が見られます。

この結果を参考に、2学期の取組の重点として、具体的な改善策を講じ、学校運営に生かしてまいります。12月には後期の保護者アンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。

2学期に力を入れたい項目

■ 低評価△、×（2、1）のポイントが比較的多い項目

・「えんぴつを正しく持ち、ていねいに字を書いている」（評価項目 No.5）

児童アンケート 18.2% 保護者アンケート 39.8%

・「本を読むようにしている」（評価項目 No.6）

教師 40% 児童 35% 保護者 44.6%

・「休み時間は進んで外に出て、遊んだり、運動したりしている」（評価項目 No.7）

教師 6.6% 児童 19.1% 保護者 31.1%

・「家庭では、1日のゲームの時間を決めて遊んでいる」（評価項目 No.10）

児童 26.8% 保護者 29.7%

～保護者の皆様よりお寄せいただいた言葉（まとめ）～

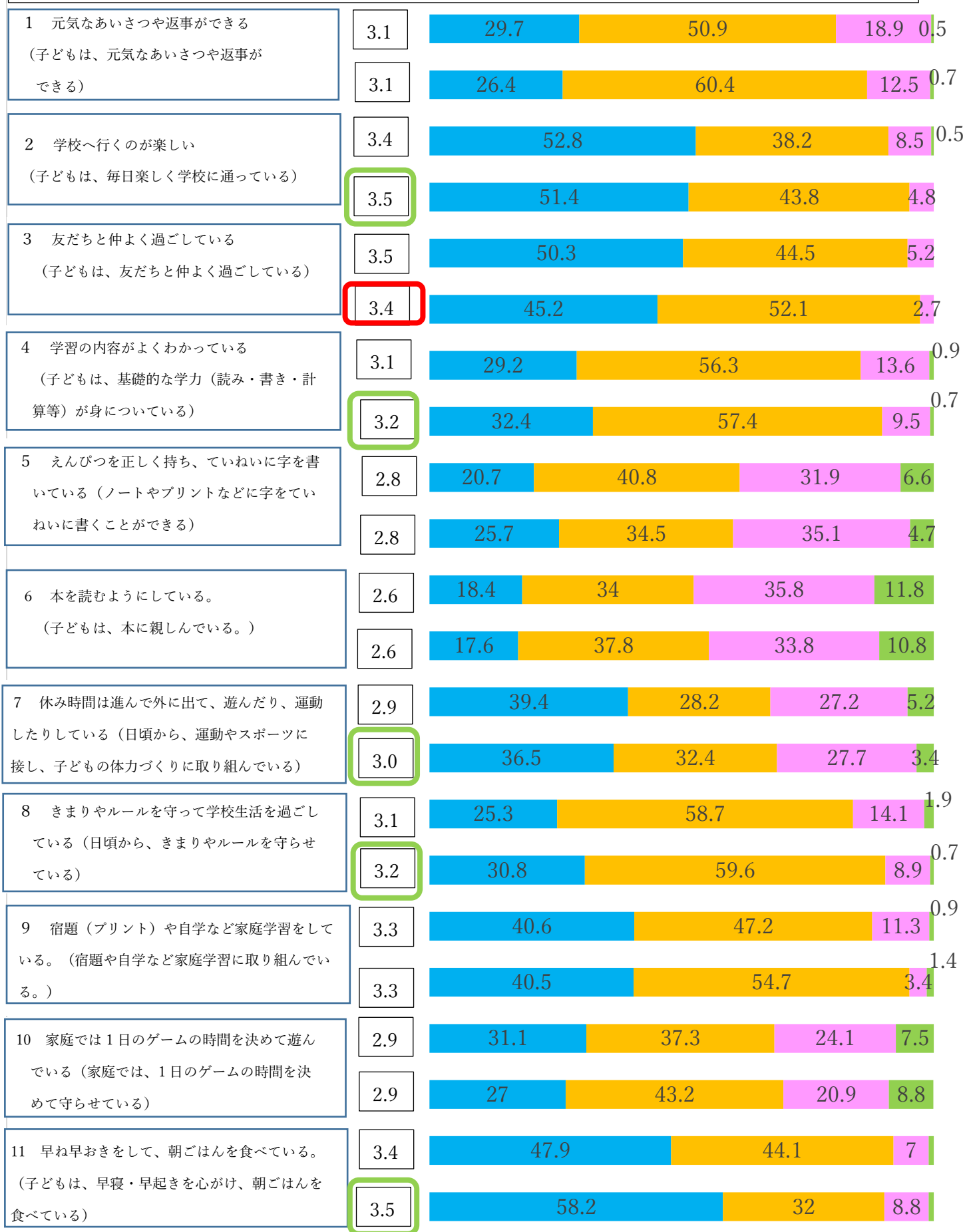
○教職員へのねぎらいの言葉をたくさんいただきありがとうございます。今後も子どもたちのために全力で頑張ります。

○お子様の学習に対する不安等がいくつかありました。全職員で情報を共有し改善を図っております。特に「字をていねいに書く」ことについては、学校全体で指導しているところです。家庭学習の取組も含めてご家庭での声かけや励ましをよろしく願いいたします。

○今年度も感染防止対策や熱中症予防にご協力して頂き、誠にありがとうございます。今後も皆様のご意見を頂き、子ども達が安心して安全な環境の中で取り組めるように、子ども一人一人としっかりと関わって行きたいと思っております。

～お忙しい中たくさんのご意見ありがとうございました。～

保護者アンケート集計結果（R4.7とR5.7の比較 上段：R4.7 下段：R5.7）参考資料



は、昨年度の1学期より評価ポイントが上がった項目です。



は、昨年度の1学期より評価ポイントが下がった項目です。